

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2018 年 4 月 2 日作成

研究課題名	男性不妊症患者の残余精液検体を利用した精液中活性酸素（Reactive oxygen species: ROS）測定と精子運動性、妊孕性の関連についての後方視的研究
研究の対象	2009 年 4 月 1 日から 2017 年 5 月 1 日までに当院生殖医療センターを受診し精液検査を行った方（精子凍結や人工授精・体外受精・顕微授精で使した精液は除外されています）
研究目的 ・方法	カルテから、患者の臨床背景（年齢・BMI・喫煙歴・射精回数）、精液所見、患者さんの疾患、治療の種類、期間、パートナーの不妊治療とその結果を調査します。 精液中の活性酸素が妊孕性、精子運動性に及ぼす影響、その発生原因や作用機序、などについて明らかにするために患者の残余精液保存検体と診療録の情報をを用いて以下の項目について調査を行う。 ・年齢・生活習慣等の患者背景と精液中活性酸素との関連 ・診療録から得た治療（薬物療法・精索静脈瘤手術）前後の精液所見と保存精液中活性酸素との関連 ・治療による精液中活性酸素値の変動 ・女性不妊治療（人工授精・体外受精・顕微授精）の結果と活性酸素値の相関
研究期間	西暦 2018 年 6 月 25 日（承認日） ～ 西暦 2022 年 4 月 30 日
研究に用いる試料・情報の種類	診療録および保存している検体から、下記の情報を収集します。 ・背景情報として、年齢, BMI, 喫煙の有無、男性不妊疾患の種類 ・保存前の精液の所見、手術情報、治療薬剤情報 ・検体保存時の妊娠の有無と妊娠に至った治療法 ・保存した精液中活性酸素の値
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒232-0024 （所在地）横浜市南区浦舟町 4-57 （所属機関）横浜市立大学附属市民総合医療センター 生殖医療センター泌尿器科 （研究責任者）湯村 寧 電話番号：045-261-5656 FAX：045-253-1962	